

田畑修一郎

ハタケシウイチロウ

小説家。

明治二十六年九月、二百萬根縣生れ、昭

和十八年七月、二十二年歿（一九三二—四三）。舊姓河野、本名修藏。筆名田

畑修二。昭和二年早稻田大學文學部英文科中退。在學中宇野浩二の師

事し、同人誌『街』、『雄鷄』のち『麒麟』と改題）、『世紀』、

『木靴』等に参加した他、『文藝春秋』、『中央公論』等にも作品を

發表。

著書『寫材家の子供』（昭和十二年）六月五百砂子屋書房）、『寫打帽』

（昭和十四年）二月二十一日赤塚書房）、『短篇一百八人集』（合著・

月刊文章編輯部編、昭和十五年）二月十八日厚生閣）、『狐の子』（昭

和十五年十一月十日ごろりあ・そとえと）『新ごろりあ叢書』（）、『審

節高周房一氏』（昭和十六年四月）『五百砂子屋書房』（）、『蜥蜴の歌』

（昭和十六年十月）『五百聖水書房』（）、坪田勝遺稿集『トロイの木馬』

（編、昭和十七年十一月十八日街の會）、『出雲・石見』（昭和十八

年八月）『五百小山書店』『新風上野叢書』（）、『郷愁』（昭和十九年一

月十日發賣圖書刊行會）等。